

初教 KAWARABAN

初教 かわらばん

創刊号 1999.7.1

広島文教女子大学 教育学会 発行



初教のいま

学科長 原田 正治

〇〇さん、先日はお便りありがとうございました。職場にもすっかり溶け込んで楽しく働いておられるようですね。初教では今年山名の新入生を迎え、1年生から4年生まで40人以上の大人数となりました。創立以来18年で卒業生は1000名を超え、小学校の先生(30名以上)だけでなく、幼稚園、保育所、福祉施設、公務員、一般企業などでも活躍しており、中国や九州地方のみならず最近では関東や北海道などからも元気のいい声が届いています。教育面では、幼児教育学科が発展した幼児教育コース、今年から新設の心理学コース、従来の児童教育コースと情報教育コースという4つのコースがあり、2年生から各専修やコースに分かれるのは以前と同じです。

初教の2年間の行事は、4月の入学

『第10回全米理科教師の研究大会(ニューオリンズ)にて』(左が学科長)

式、スポーツデー、5月のオリゼミ、学科内バレーボール大会、6月の観察実習、合同発表会、8月の山キヤンプ実習、9月の臨海実習、教育実習、10月の文教祭、11月の教育学会研究発表大会、1月の卒業式、2月の卒業発表会、3月の卒業式、などです。こうした行事もあなたのところとあまり変わっていないでしょう。ところで初教では小学校の先生希望が多いのですが、最近では教員採用試験が非常に難しくなっています。昨年末、採用試験合格者にお願いで「教探合格の秘訣」という小冊子を作りました。採用試験を目指す後輩や卒業生の希望者に配付して好評でした。このように、先生と学生の距離が近いことや学生どうしが親密で快い助け合いの精神があるところは文教の初教の誇るべき点ですね。

文教ではいま学科改組が進行中です。しかし初等教育学科はこれまでの良い伝統を継承しつつ時代の変化にも対応しながら現在のままで存続していくことになっています。

こんなところが「初教のいま」についてのご報告です。それでは〇〇さんまた休みが取れたら母校を訪れて楽しい話を聞かせてください。どうぞお元気で。



こと。サークル活動で毎日大好きな道徳を仲間と一緒にすることができたこと。講義も座学ばかりでなく、自分たちで調べたり、体を動かしたり、実験したりときまじまじなことを学ぶことができたこと。こうして、話しているだけでいろいろんなどか思い出されてきて、やはり「初教」では語り切れません。」

「そうですね。学生時代というのは本当にいろいろな思い出がありますよね。では、可書教諭になるためには具体的にどんなことをされたのですか？」

「夏休み前まではずっと小学校の教員採用試験の勉強をしていました。その後、教員採用試験の方はだめだなーと思って、夏休み中は近所の図書館へひたすら勉強するために友人と2人で通っていました。一般教養の問題集は教員採用試験のときに使っていたものをそのまま利用しては、あとは図書館法などの専門分野の勉強をノートにまとめ直したりしていました。試験は、教員採用試験に比べたら実技試験もなしし、一般教養も比較的難しくはなかったと思います。二次試験には面接があったのですが、自分で質問事項を予測してきちんと答えられるように答えもノートにまとめていました。」

「それでは、今後可書教諭としてどんなことをやってみたいと思われませんか？」

「また、コンパニ



「夏休み前まではずっと小学校の教員採用試験の勉強をしていました。その後、教員採用試験の方はだめだなーと思って、夏休み中は近所の図書館へひたすら勉強するために友人と2人で通っていました。一般教養の問題集は教員採用試験のときに使っていたものをそのまま利用しては、あとは図書館法などの専門分野の勉強をノートにまとめ直したりしていました。試験は、教員採用試験に比べたら実技試験もなしし、一般教養も比較的難しくはなかったと思います。二次試験には面接があったのですが、自分で質問事項を予測してきちんと答えられるように答えもノートにまとめていました。」

「それでは、今後可書教諭としてどんなことをやってみたいと思われませんか？」

「また、コンパニ

平成11年度 初教スタッフ(五十音順)

秋山 幹男	ヘタラン
新井 比呂志	中堅
生住 裕人	新鋭
伊藤 裕康	そらって
植田 ひとみ	益々充実のスタッフです
岡 利道	スタツマナ
兼近 詩子	きらり
金井 俊作	
河相 豊	
川西 正行	
神原 雅之	
黒柳 宏義	
小西 忠男	
新宅 雅和	
菅井 直也	
杉元 邦太郎(新任)	
杉山 浩之	
田原 穂積	
田村 進	
徳本 達夫	
原田 正治	
東 由水枝	
藤土 圭三	
山下 美佐子	
吉田 裕午	
宮原 満男(定年退職)	

「初教かわらばん」編集スタッフ

田原 穂積(編集長)

岡 利道

東 由水枝(初教9期生)

兼近 詩子(初教10期生)

石塚 のり子(初教14期生)

金本 満利子(初教14期生)

山田 悦子(初教14期生)

山田 悦子(初教14期生)

「初教かわらばん」投稿のご案内

会員の皆様の投稿により、本誌はより充実し、より楽しいものになります。投稿を、心からお待ちしております。次の要領で、どしどし原稿をお寄せ下さい。

- 文 量 800字以内(手書き、ワープロどちらでも)
- 写 真 1~2枚(様子がわかるもの)
- 送り先(郵送の場合) 〒731-0295 広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学文学部初等教育学科「初教かわらばん」編集委員会
- 同(電子メールの場合) bunkyo1@hiroshima-cdas.or.jp

なお、掲載分につきましては、編集委員会より薄謝をお送りします。

編集後記

T どうとう第一号が完成したね。

O お疲れ様でした！手前味噌になりますが、斬新な誌面構成で、読みやすいものになったと思います。

T 会員の皆さんに、よろこんでもらえるたえっね。

O ハイ。編集委員みんなで知恵を出し合った成果です。

T とどうとう、今回は第一号だったから、原稿を寄せていただいた会員の方々には、たいへんお世話になったね。

O ありがとうございます。さすが、編集長の人徳です！

T そんなにノセないでよ。(笑)

O じゃあ、第二号以降も編集長をよろしくお願ひします。

T オットウト。つまへハメラれちやっとなあ。(おやっ)

O もちろん、僕たち編集委員も残りますから。(ドンと胸を叩く)

T 仲よくやっていこうね。本気でチームワークがめつた！みんな忙しいのに、休まず編集会議に出してくれたし。

O 今度は、投稿をもとにして、会員のみなさんに、より一層よろこんでもらえる「初教かわらばん」にしていきたい。

T というわけで、これから、会員のみなさん、たくさん「初教」投稿、よろしくお願ひします！(一人、ペリリとお辞儀)

笑顔キラキラハート美人!

長井真紀さん(14期生)のしまなみレジャー奮闘記

瀬戸内海大橋完成記念イベント「しまなみ海道遊」をさわやかにサポートしている「しまなみレジャー」。愛媛県の「しまなみレジャー」として活躍中の長井真紀さんにスポットを当て、充実した日々の中で感じる「初教」について話していただきました。

○卒業後、長井さんの活動

H10年4月、今治市立万乃(のま)小学校で2学期間、副校長として勤務。

〈学んだこと〉

- 子どもたちと過ごすことの幸せを感じる
- 教えることの楽しさを実感
- 大学時代の資料を取り出して授業の参考に
- 教員採用の門は狭い
- H10年10月、しまなみレジャーに決定。任期は1年間(同)と同僚の高橋君のサポートで選ばれる(高橋君の活動内容)
- 県内外で行ったしまなみ海道遊のPR活動、キャンパスへの参加
- 東京、大阪、福岡、中国地方、長野県などの活動
- テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ポスター等への出演
- 開演前にはお話し、3日出演(お話し)
- 来賓、来賓への挨拶(式典等)
- 〈学んだこと〉
- 大きなことに携わる責任感で頑張る
- 愛媛県(地元)を愛する気持ち



HIROSHIMA

「ロケ」

広島県のしまなみレジャーには院卒の鉄村博美さんが選ばれ、活躍されています。

EHIME

文責：山田悦子(14期生)

「この経験は将来役立つものと確信しています。」

※長井さんの心からの笑顔と前向きに生きるパワーに心を打たれました。どうか健康に気をつけて、ステキな笑顔でみなさんの心を明るくしていただきたいと思っています。がんばれ！しまなみレジャー！

「この経験は将来役立つものと確信しています。」

※長井さんの心からの笑顔と前向きに生きるパワーに心を打たれました。どうか健康に気をつけて、ステキな笑顔でみなさんの心を明るくしていただきたいと思っています。がんばれ！しまなみレジャー！

中央が長井さん